

伝統家屋の省エネの知恵を活かした新スタイルのエコ住宅 『市川展示場』モデルハウスオープンのお知らせ

このたび、株式会社アキュラホーム(本社:東京都新宿区 社長:宮沢 俊哉)は、「市川住宅公園」(JR 総武線・本八幡駅徒歩10分)内に、市川市では初出展となる(千葉県内では5カ所目、全国では44カ所目)『市川展示場』(モデルハウス)を、6月12日(土)にオープンすることになりましたので、お知らせします。

市川市は、東京まで1時間以内で通勤できる利便性から、20代後半~40代を中心に一次取得・建て替え・住み替えなど幅広い戸建て需要があります。

この中でも近年、エコ住宅への関心は高く、世代を超えて住み継ぐことで環境負荷低減ができる長期優良住宅に対する減税や金利引き下げ、太陽光発電システムへの補助金、住宅エコポイントの創設など国によるバックアップも重なり、エコ住宅に対するニーズは今後ますます拡大することが期待されています。

これを受け、今回出展する市川展示場では、そのコンセプトを『伝統的な日本家屋の省エネの知恵と、最先端技術を融合した新スタイルのエコ住宅』とし、過剰な設備に偏ることなく、光や風などの自然エネルギーを上手にコントロールしたエコ住宅をご提案します。

その仕様は、耐久性・耐震性・次世代省エネなど高い性能を持つ長期優良住宅をベースに、昔から日本人が四季を通じて培ってきた、自然とともに豊かに暮らす知恵(自然風利用・日射遮蔽・日射熱利用など)に、太陽光発電システムなどの最先端技術をバランス良く融合させ、夏涼しく冬暖かい快適な室内環境を実現しました。

我が国のCO₂排出量は、2008年度データで世界第5位の約12億トン。そのうち約14%、1億7千万トン以上が家庭から排出されていると言われております。(出典:温室効果ガスインベントリオフィス)

このような環境問題を考えると家庭におけるCO₂排出量削減は重要な課題ではあるものの、最近のエコ住宅の多くは過剰な設備に偏ってしまい、住宅価格が高額になってしまう傾向にあります。当社では、人と地球のこれからの想うひとりでも多くの方に、エコ住宅をもっと身近な存在に感じてもらいたいと考え、“日本の住まいを安くする”というミッションのもと、住宅品質を向上させながらもコストダウンや効率化に注力し、当展示場で提唱するエココンセプトを採り入れた長期優良住宅(当社注文住宅ブランド「OPTIS〔オプティス〕」)を1,000万円台からのお求めやすい価格でご提供してまいります。

そして展示場では、自然を感じながら快適に暮らす知恵や工夫などもご紹介しながら、健康的で経済的に暮らすエコライフのご提案もあわせておこなってまいります。

市川展示場の概要

オープン日 2010年6月12日(土) 9時30分オープン

所在地 千葉県市川市鬼高1-1-2(市川住宅公園内)

営業時間 10時~18時(定休日なし)

構造 木造3階建て・3LDK(3階はロフト収納)

延床面積 267.25㎡

(内訳)		住居面積	事務所面積
1階	127.25㎡	87.25㎡	40.00㎡
2階	112.00㎡	72.00㎡	40.00㎡
3階	28.00㎡	ロフト(25.00㎡)	28.00㎡
合計	267.25㎡	159.25㎡	108.00㎡

仕様 太陽光発電・オール電化仕様の長期優良住宅



【モデルハウス外観】

モデルハウスの特徴

1. 「新スタイルのエコ住宅」をご提案 ~ 省エネで快適に暮らす伝統的な日本家屋の省エネの知恵を採用
過剰な設備に頼るのではなく、四季の風の流れや日差しをシミュレーションし、光や風などを上手にコントロールして省エネを実現しています。展示場では、これらの工夫による夏涼しく冬暖かい快適な室内環境を体感していただけるようにしています。
そして、この省エネの工夫に、耐久性・耐震性・次世代省エネなど高い性能を持つ長期優良住宅をベースに、太陽光発電やオール電化などの最先端技術をバランス良く融合させました。

(先人の知恵を活かしたエコ提案例)

日射遮蔽・日射熱利用

- ・一般住宅より深い軒の出にすることで陽射しのコントロールができ、夏涼しく冬暖かい室内を実現。
- ・南側の窓にはツル植物を植栽してグリーンカーテンをつくることで、夏の日差しを遮り光熱費を削減。

自然風利用

- ・季節の主風方向を計算し、南風を取り入れ、北風を防ぐように窓の配置や開閉方向を工夫。
- ・暖かい空気は上昇するという性質を利用して、3階のロフトに開放できるトップライトを設け、リビングから吹き抜けを通して風を自然排出させることで、屋内に快適な風の流れを創出。次世代省エネ住宅でありながら、自然の風の心地よさを十分に楽しむことができます。

その他

- ・雨水タンクによる植栽への散水。(雨水利用)
- ・調湿性のある内装壁材を使い、湿度をコントロール。

2. 「ライフスタイルの変化に柔軟に対応」できる家づくりをご提案

- ・建物のスケルトン(柱・梁・床などの構造躯体)とインフィル(住戸内の内装・設備など)とを分離した工法により、子供が小さい時には広々と子供部屋をつくり、将来は間仕切ることができるなど、大空間から個室へ、個室から大空間へ、将来の家族構成の変化に合わせて間取りを自由に変更できます。
- ・ご家族の成長に合わせて「動く収納」で空間を仕切るとい新発想の収納システムをご提案。
“2ドア・1ルームの子供部屋を2部屋に”“主寝室を夫婦それぞれの寝室に”など、リフォーム費用をかけず、ご家族だけで簡単に空間を変更できる収納システムをご提案しています。
- ・リビングでは、続き間の和室(4畳)に接する2畳分のフローリングを、来客などの用途に合わせて簡単に畳と入れ替えができるなど、室内空間の有効利用をご提案。
(和室の広さが4畳から6畳に変更でき、来客用の寝室などとしてご利用いただけます)
- ・将来のメンテナンスにも配慮し、給水・給湯・排水などの配管の維持管理をあらかじめ容易にできるよう設計した実物展示もおこなっています。

3. 家族の交流を促し、絆を深める「しあわせデザイン」のご提案

家庭内や地域での人と人とのつながりが希薄になり、様々な問題が顕在化してきた昨今、「住まいはどうあるべきか」という問いから導き出された、家族やご近所の方々と明るいコミュニケーションをもデザインしていこうという当社の取り組み。家族の交流を促し、絆を深める新発想のデザインで、心が通い合う本当の意味での「しあわせ」を、住まいを通じてお届けすることを目指しています。

(しあわせデザインの一例)

- ・外構には、家族の記念日を迎える12本の連柱「ハッピーリース」や、家族の思いを込めた新築の記念樹「しあわせツリー」を配置。
- ・広々としたリビングは、家族のためのコミュニケーションスペースとして、家族が自由に書き込むことができる「伝言版」や、家族の成長が楽しめるよう長期にわたって同じ位置で家族写真が撮影できるように、床に一人ひとりのマークを埋め込んだ「フォトポジション」などを設置。

4. 「高いデザイン性と機能性」による、美しく資産価値の高い住宅をご提案

- ・外観や間取りには独自開発したデザインコード（原則）を駆使し、また室内には、グッドデザイン賞を受賞した当社開発の室内階段「匠階段」や、縦格子デザインの耐力壁「ガラスウォール」を配置することで、機能的で美しく資産価値の高い住宅を実現しています。
（ガラスウォールは、「新日本様式」協議会が主催する2007年「新日本様式」100選にも選定されました）
- ・地震時の家具転倒対策となるウォークインクローゼットや、3Fのロフトには大きな荷物もたくさん収納できる最大天井高1.4mの大収納を配置し、すっきり片付いた生活空間をご提案。



〔匠階段〕



〔ガラスウォール〕

デザインコード

住宅に限らず形あるものの美しさには一定の法則性があることに着目し、それを住宅設計の場面で活用できるようアキュラホームがコード（原則）化したもので、美しく資産価値の高い住宅が提供できることで社会資本の充実に貢献。2006年春からは、日本最大のホームビルダーネットワーク「ジャープネット」（主宰：(株)アキュラホーム）でも運用を開始し、地域工務店の課題とされていたデザイン力が飛躍的に向上しました。

5. 「エコ得アドバイザー」を配置 ~ 種々の国の補助制度の中から、お客様にあわせてお得な建築計画をご提案

お客様に一番お得な建築計画をご提案できるよう、住宅税制改正、太陽光発電などに対する補助金制度、住宅エコポイントなど、国の補助制度をはじめとする最新知識を習得した営業担当を「エコ得アドバイザー」として配置。お客様の資金計画やご要望にあわせて各種補助制度をご紹介するほか、長期優良住宅のメリットや、太陽光発電の光熱費・売電価格等のメリットを分かりやすくご説明します。

さらに、自然を感じながら快適に暮らす知恵や工夫などもご紹介しながら、健康的で経済的に暮らすエコライフのご提案もおこなってまいります。

案内地図

JR 総武線「本八幡」駅より南へ徒歩10分、「市川住宅公園」内



<当社の環境への取り組み>

当社では、主宰する全国約450社の日本最大のホームビルダーネットワーク「ジャーブネット」とともに、2003年に、次世代省エネ住宅や太陽光発電搭載オール電化住宅を、また、2007年には国の認定基準を高水準でクリアした長期優良住宅をいち早く開発・販売してきました。

これらの実践を通じてエコ住宅に関するノウハウを積み重ねてきた結果、昨年11月には「住宅・建築物省CO₂推進モデル事業」(1)への提案採択や、また、昨年12月には、埼玉県住宅供給公社がさいたま市見沼区で実施する「エコ住まーとプロジェクト」(2)の企画提案コンペにて、当社が提案した“自然と共生しながらCO₂排出を削減する工夫”が高く評価され、協賛企業として採用。

さらに今年3月には、(財)建築環境・省エネルギー機構より「環境共生住宅認定(システム供給型)」(3)を受けるなど、家づくりを通じた環境配慮の取り組みが公的にも評価されています。

1:住宅・建築物省CO₂推進モデル事業に採択

国土交通省が実施する平成21年度第2回「住宅・建築物省CO₂推進モデル事業」新築戸建住宅提案部門に応募した「つくり手・すまい手・近隣が一体となった地域工務店型ライフサイクル省CO₂木造住宅」の提案が採択。採択を受けた提案のコンセプトは以下3点。

住宅のライフサイクルにおける省CO₂対策

建設・居住・解体といった各段階でCASBEEライフサイクルCO₂評価の試算によるとCO₂が41%削減。

試算対象に入っていない製造・流通段階の取り組みを含めると41%+の削減効果となる。

つくり手・すまい手・近隣が一体となった省CO₂対策

つくり手においては、資材配送を自社物流センターの計画配送により搬入回数を削減。また地域産材活用による地産地消の実現やガラス繊維協会によるマイスター認定取得者による断熱工事の実施、近隣住戸への影響を考慮した街区レベルでの省CO₂設計の実施。すまい手へは、CO₂排出量を削減する啓発ツールの提供やコーチングの実施。近隣の住居者へは、現場見学会を通じた情報発信や勉強会の開催などを実施。

主宰する全国ホームビルダーネットワーク「ジャーブネット」への段階的な普及体制を構築

第1ステップとしてアキュラホームによるモデル住宅の建設。第2ステップをジャーブネット内の牽引役となるリーディングメンバーを組織して取り組むことによる地域展開とし、以降ジャーブネットへ段階的に普及させる体制を構築。

2:エコ住まーとプロジェクトに採用

「エコ住まーとプロジェクト」とは、埼玉県住宅供給公社が保有する、さいたま市見沼区(ファミリータウン東大宮)の宅地9区画(156.53㎡~168.35㎡)を今年4月29日よりエコ住宅用として埼玉県民に分譲し、協賛企業として採用された当社を含む民間住宅会社3社が住宅建設を請け負う共同事業。

なお、宅地購入者には、東京ガス(株)の「エネファーム」や太陽光発電パネルなどを設置したエコ住宅を建設することを条件に、最大200万円まで宅地価格を減額し、エコ住宅の建設を支援。

モデルハウス「エコ住まーとハウス」は、公社と当社・東京ガス(株)・(株)ホンダソルテックとの共同事業により、公社保有地に建設し、2年間一般に公開。

「エコ住まーとプロジェクト」事業概要・物件概要などは、埼玉県住宅供給公社のホームページでご確認ください。

(<http://www.saijk.or.jp/>)

3:環境共生住宅認定取得

(財)建築環境・省エネルギー機構より「環境共生住宅認定(システム供給型)」を、今年3月31日に受けた。

環境共生住宅とは、地球環境を保全する観点から、エネルギー・資源・廃棄物などの面で十分な配慮がなされ、また、周辺の自然環境と親密に美しく調和し、住まい手が主体的に関りながら、健康で快適に生活できるよう工夫された、環境と共生するライフスタイルを実践できる住宅、および、その地域環境のこと。

今回の認定は、環境共生住宅(システム供給型)として、環境共生住宅をホームビルダーネットワーク「ジャーブネット」の中で、確実に施工・管理し、供給する点が評価されたもの。

「環境共生住宅認定」の概要などは、(財)建築環境・省エネルギー機構のホームページでご確認ください。

(<http://www.ibec.or.jp/nintei/kyousei/>)

<報道関係からのお問い合わせ先> 株式会社アキュラホーム 広報課 山本・堀越 TEL:03-6302-5010

<お客様からのお問い合わせ先> (~6/11まで) TEL:047-312-0050 (株)アキュラホーム・松戸展示場)

(6/12~より) TEL:047-700-2021 (株)アキュラホーム・市川展示場)

画像データは右記URLよりダウンロードすることができます。 URL:<http://www.aqura.co.jp/news.html>

本資料は、国土交通省記者クラブ、市川市役所記者クラブ、千葉県経済記者会に配布しております。